

谷津ミュージアム事業推進専門家会議 会議の概要

1 会議の名称

令和4年度第1回我孫子市谷津ミュージアム事業推進専門家会議

2 開催日時

令和4年7月19日(火) 午後2時から午後4時50分まで

3 開催場所

我孫子市都部611番地先 岡発戸・都部谷津ミュージアム作業小屋

4 出席委員

浅間 茂委員長 谷城 勝弘副委員長 平岡 考委員 松下 直子委員

5 事務局

中場課長 海老原係長 高橋主任主事 盛田主事

6 会議に付した事項等

○谷津ミュージアムの維持管理について（現地視察）

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴人

4名

9 会議の内容

別紙

<各議員からの意見>

○アメリカザリガニ・アカミミガメが特定外来生物に指定された場合の駆除・防除対応方法について

浅間委員長：アメリカザリガニは水草を切ってしまうのが問題。水草被害が少ないならそこまで駆除しなくても問題ない。

アメリカザリガニの駆除方法として、ライギョやナマズ、ウナギなどを放流して駆除している場所もあるが、谷津ミュージアムでは不要と思われる。

アカミミガメは在来種を追いやってしまうのが問題。ボランティアから在来種のイシガメが確認されているとの報告があったため駆除したほうがいい。

平岡委員：アメリカザリガニはカワセミやサギ科の野鳥が食べる。

○ホタルについて

事務局：毎年、谷津では多くのホタルが観察されている。ホタルの減少を防ぐために、注意点があればご教示いただきたい。そもそも、ホタルは鳥類に捕食されるのか。

平岡委員：鳥類はホタルを食べない。

浅間委員長：クモがホタルを食べる。ホタルの幼虫は貝を食べる。草刈りをやり過ぎて、影響が出るのはホタルではなくアカガエル。生息環境と産卵環境が異なるので、注意して維持管理作業を実施していただきたい。

<その他意見>

浅間委員長：谷津ミュージアムにはワルナスビなどの外来生物も自生している。しかし、全てを取り除く必要はない。その場所をどうしていきたいかによって整備方法を変えていく必要がある。

谷津ミュージアム内では、「アカガエル」「メダカ」「ハイケボタル」が多数確認されており、これほど確認されている場所は少ないので、谷津の魅力として発信できる。

谷津ミュージアムの整備方法としては、自然のままが一番良い。家庭の植物などを植えられないようにするなど、方針をしっかりとっておいて、現状を変えないよう維持していくことが重要。

植物の移植については谷津外からの持ち込みは禁止にするなど、ルールを決めて実施する必要がある。

今回の視察でも貴重な動植物を発見できた。これからも環境維持を継続していただきたい。

平岡委員：昨年の会議で、植物の移植について相談があった。環境保全上も、特定の希少種の保全のために特定の植生をコントロールするなど、ある程度、環境のマネジメントをすることは許容されていると思うが、一方で、きれいな花だから目立つところに移植して増やすといった趣味的なことをするのは、環境保全の趣旨からは外れた話で良くないのではないかと考える。本日複数箇所で見えたナギナタコウジュなどはそういった事例のように思われ、望ましくないのではないか。家庭の庭で花壇を作っているのとは異なることを認識することが必要。

谷城副委員長：「ミズニラ」というシダ植物があり、きれいな湧水の所にしか生息しないので、環境を見る上で指標になる。

「オオブタクサ」は外来種だが、駆除が大変なので、そのままにしておいてしばらく様子を見た方がいい。デッドセンターといって、はびこってくると中央部から自滅していく種類もある。

移植については難しい課題だと思われる。市、ボランティアで合意事項を作成し、双方が納得の上でそれが地域住民にも歓迎されるなら移植の実施を検討してもよいと考える。

松下委員：NECでは社員の持つ知識やスキルを無償提供して社会起業家の抱える課題解決に役立てる取り組みである「プロボノ」を実施している。国内企業では初の取り組みであり、現在は自治体と連携し地域共創を行っている。

ボランティア活動の参加者を増加させるには、谷津での活動だけでなく、それ以外の学びに繋がるにはどうしたらよいかを考えることで、谷津の魅力を発信できると思われる。

<傍聴人からの発言>

平原氏：以前も相談したが、ナガエツルノゲイトウが谷津内で確認されている。

草刈りバーナー等で焼き切るなど、良い対処法があればご教示いただきたい。

谷城副委員長：ナガエツルノゲイトウは気づいたら取る程度で良い。畔に確認されているが、畔に除草剤やバーナーを使ってしまうと畔が崩壊してしまう可能性がある。そのままにしておいて、もともと生えていた在来植物と種間競争させて、量的な変化を確認し、繁茂が増大すれば駆除するのが良い。

浅間委員長：ロープを張って駆除する範囲を決めてみるのも良い。